

オンラインセミナー (Zoom)

レガシーシステム脱却を成功に導く 上流工程の進め方

LINPRESS



株式会社リンプレス
パフォーマー 川上 淳一

本日のアジェンダ

- 企業におけるITシステムの現状
- IT部門が担うべき役割
- 要求（事業要求、デジタル要求）を具現化する
(CANVAS-SA[®])
- 具現化のステップ1（背景の確認と共有化）

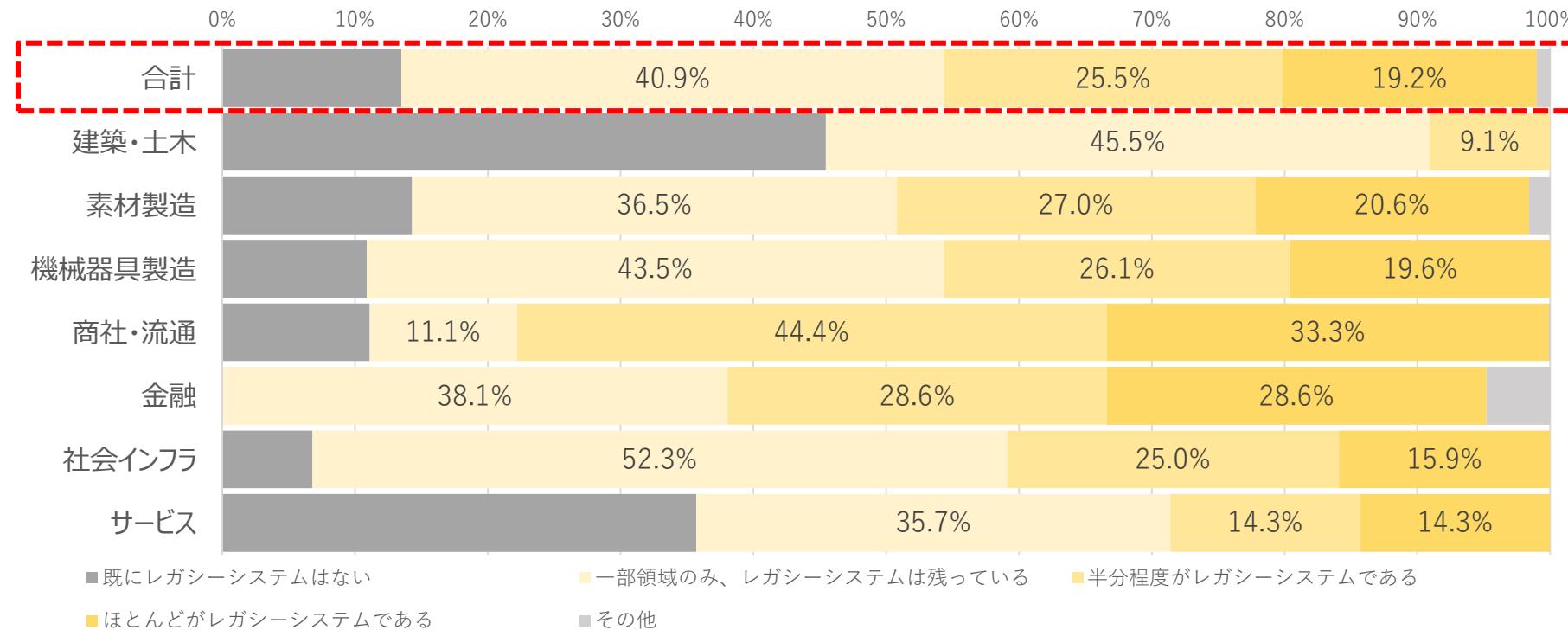
企業におけるITシステムの現状

企業のレガシーシステム保有状況

ある調査によると製造業の約8割がレガシーシステムを抱えており、それによりDX推進を阻害されていると指摘しています。

IT部門にとってレガシーシステム刷新は急務ですが、これまで主に保守を担当していたのでIT構想や企画のやり方が分からず、有識者がいないため大規模システム刷新に自信がないといった課題が多くの企業で見られています。

8割近い企業がレガシーシステムを抱えている



出典：日経BP総合研究所『製造業DX調査レポート』（参考記事：<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/05463/>）をもとに弊社で作図

我々を取り巻く環境



現行業務の運用・保守で手一杯



経営者がIT投資に消極的



自社にIT企画提案できる
人材が不在

DXプロジェクトのリーダー不在

IT予算のほとんどが
保守費用に消費

ITベンダーに要件定義を丸投げ

IT部門の高齢化が進んでいる

業務部門のIT力が低い

ITベンダーにも人材が不足



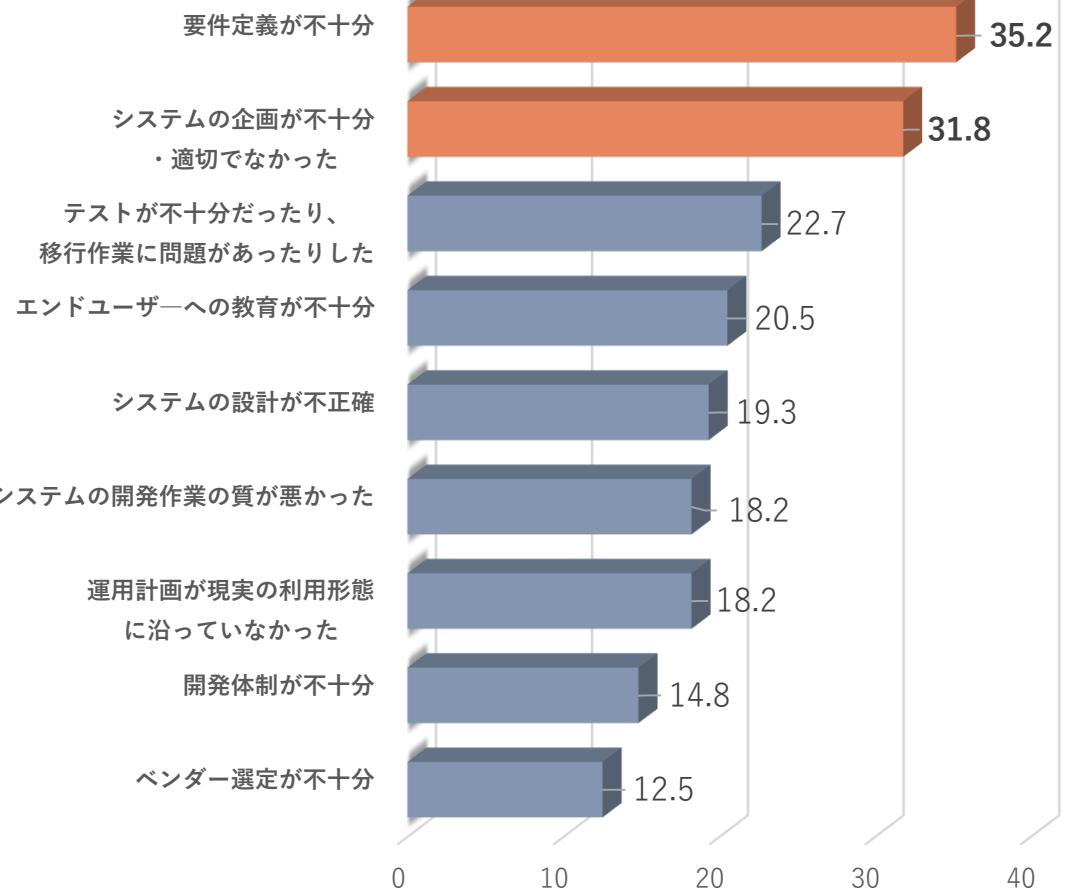
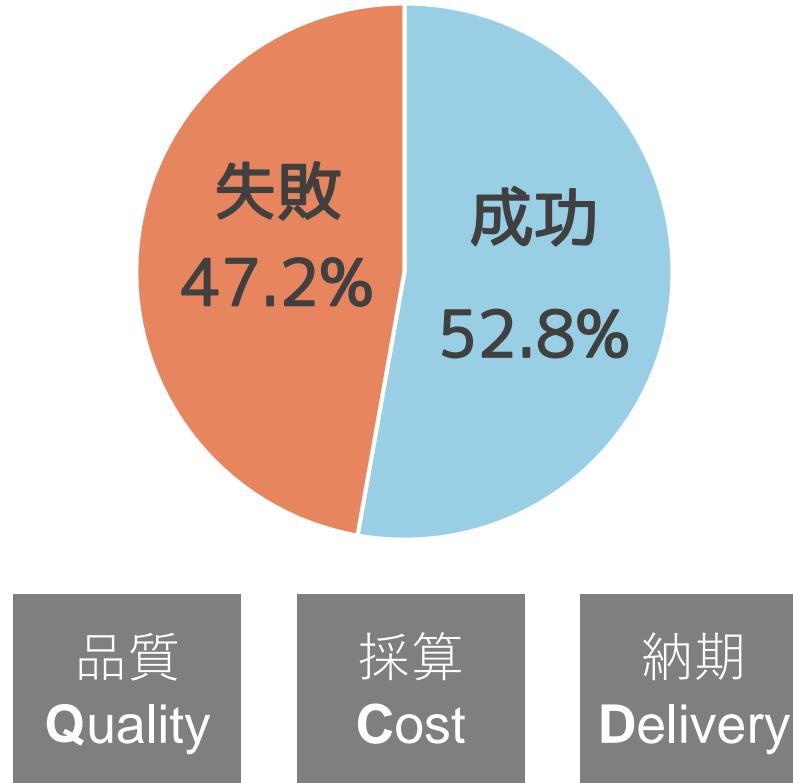
人材育成に割くマンパワーそのものが不足している

システム開発プロジェクトが失敗する理由

下記のデータから、企画や上流工程を原因としたITシステム構築/導入に失敗が多く、DXを推進しようにも積極的になれない日本企業の実態が見て取れる。

失敗の原因

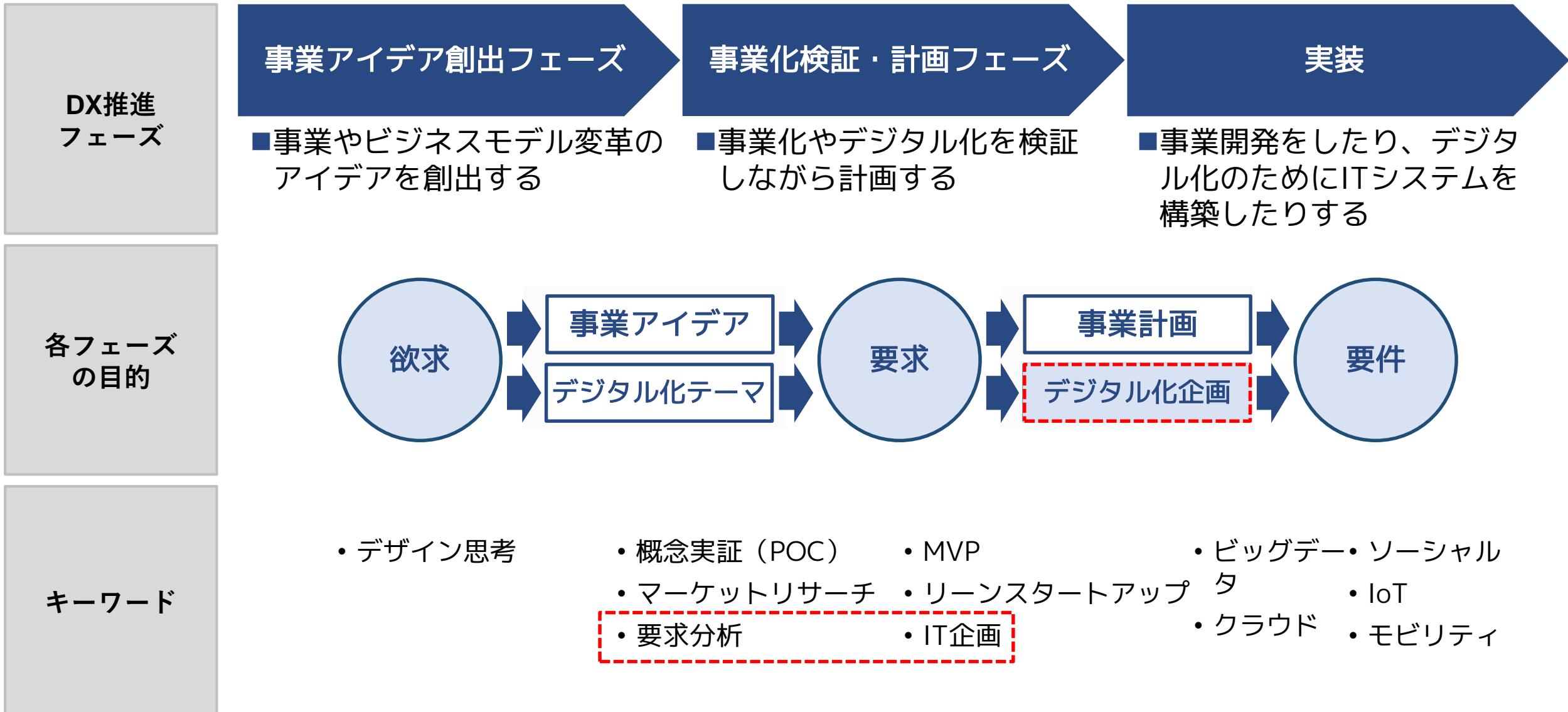
失敗の確率 (2018年)



出典：日経コンピュータ『ITプロジェクト実態調査2018』をもとに弊社で作図

IT部門が担うべき役割

DX推進に関するIT化構想・実現の順序



IT部門が抱える課題

十数年ぶりにシステム再構築を行う

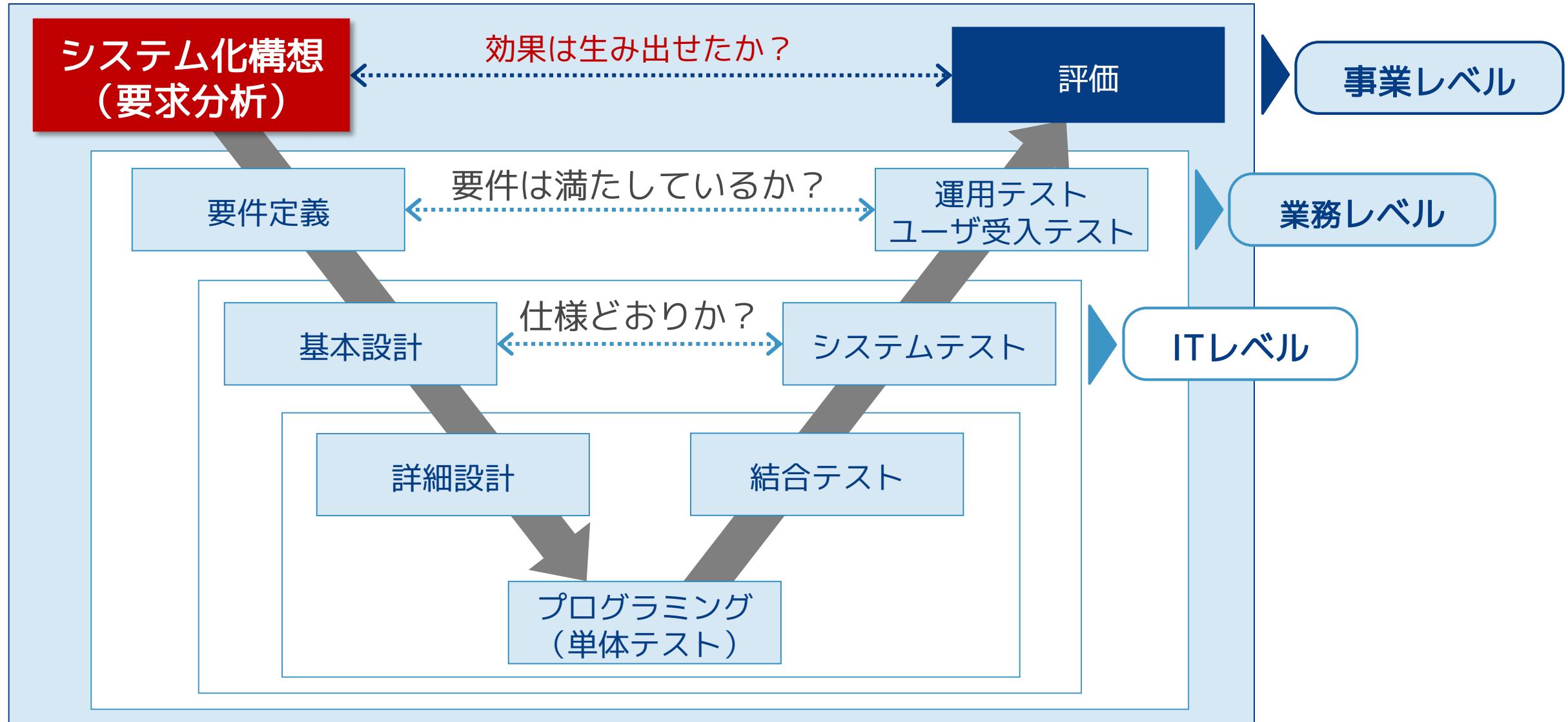


- ・現行システムの有識者が居ない
- ・これまで主に保守を担当していたので、IT構想や企画のやり方が分からぬ
- ・何から手を付けるべきか分からぬ

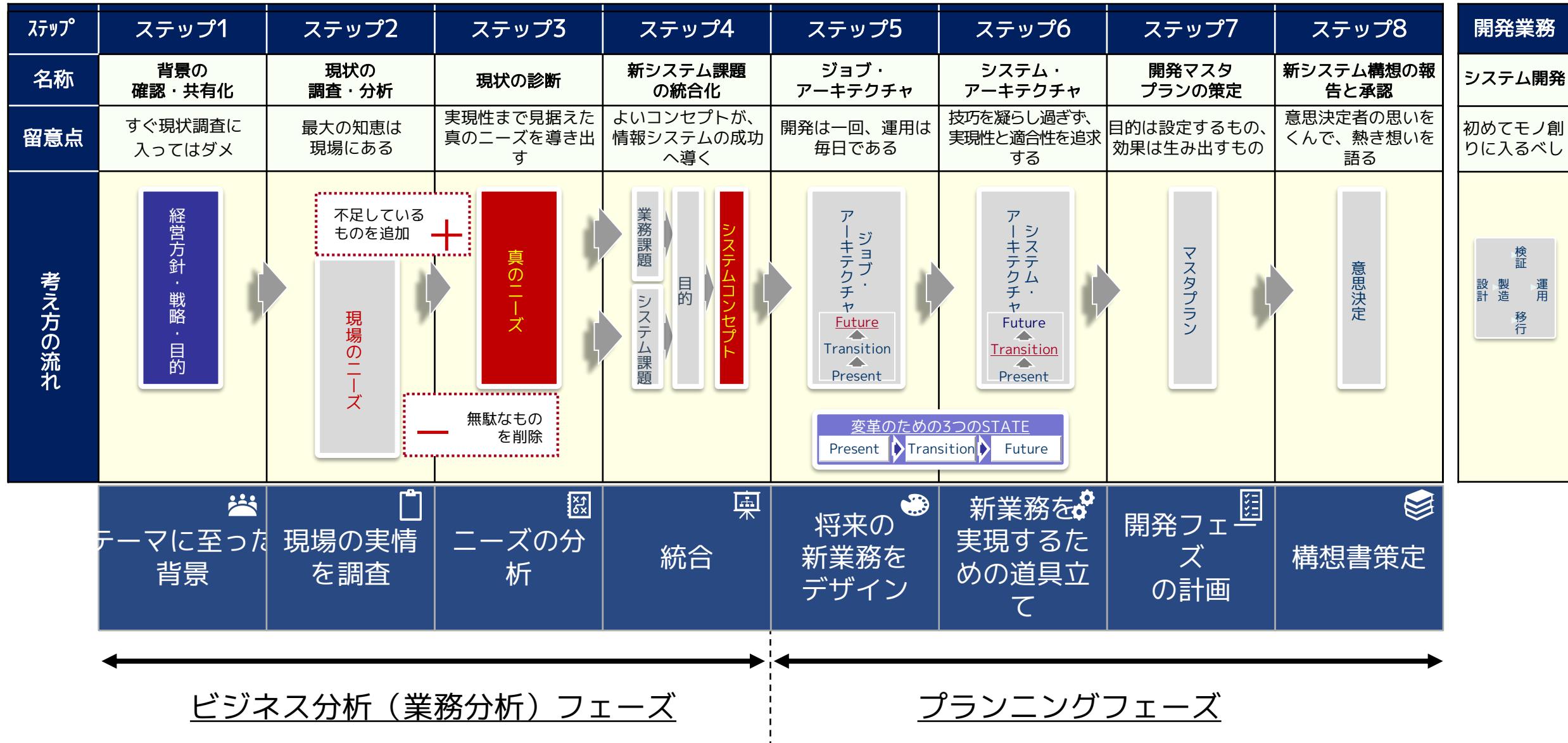
このような状況でも、IT部門が上流工程をきちんと出来ないといけない

■ 要求（事業要求、デジタル要求）を具現化する

情報システム開発のライフサイクル



2. 上流工程方法論「CANVAS-SA[®]チャート」



■ 具現化のステップ1（背景の確認と共有化）

W1-2-1

背景確認シート

部門名

業務名

作成日

年 月 日

作成者

① 現状までの経緯

■ 環境

■ 資源

■ 歴史

③ 問題点・ニーズ

■ 業務面

■ システム面

② 目標観

■ 企業レベル

■ 部門レベル
<利用部門>

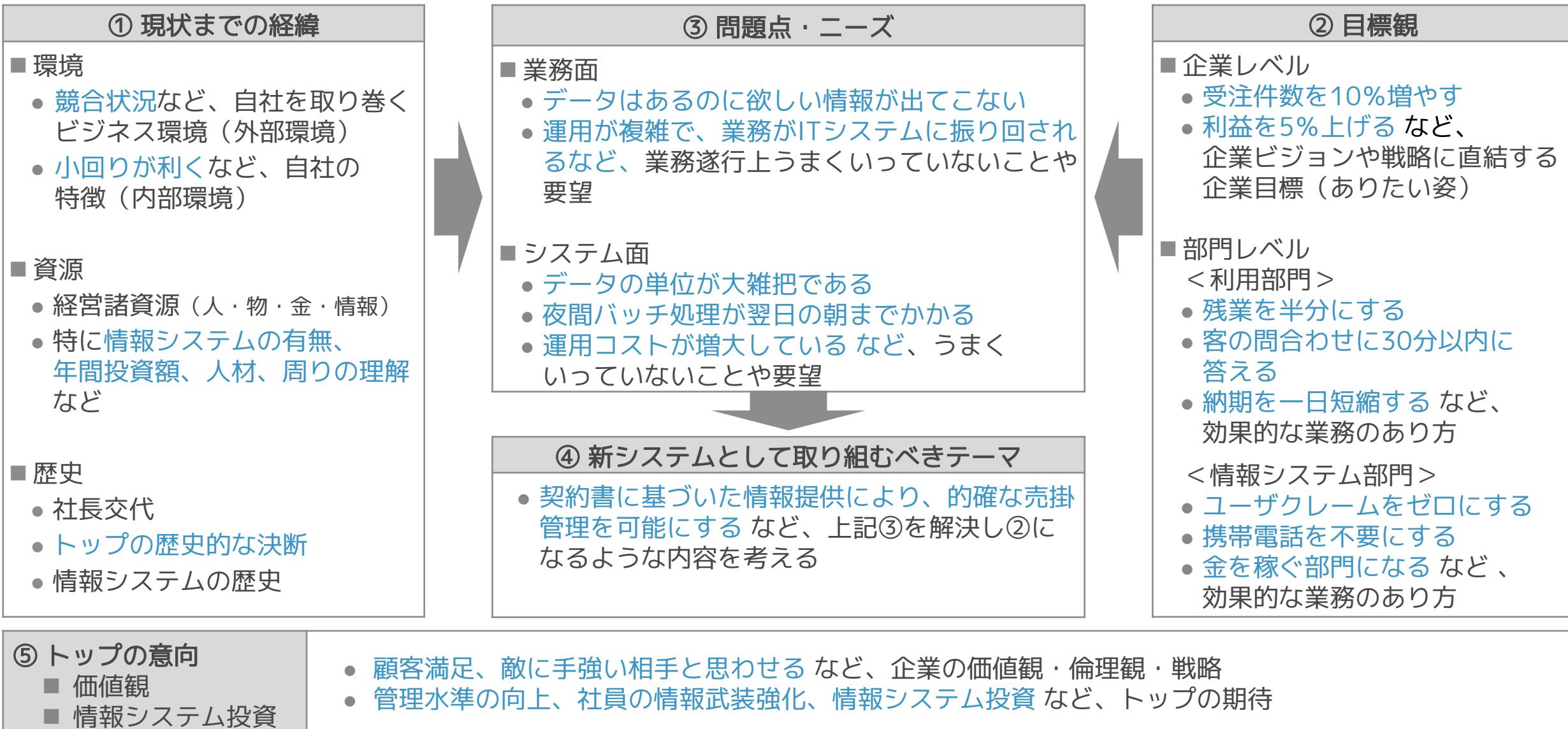
<情報システム部門>

④ 新システムとして取り組むべきテーマ

⑤ トップの意向

■ 価値観
■ 情報システム投資

W1-2-1	背景確認シート	(書き方の例)	作成日	年 月 日
部門名	業務名	作成者		



※本例はボックスごとの例であり、ボックス間の関連はありません。

IT企画研修1Day型「SA教室」

IT・DXに必要なIT企画・立案手法を学ぶ、
IT企画・立案研修
SA教室（1Day型）

詳細を見る



SA教室

講義 **事例** **理論・モデル**

受講料金：55,000円（税込）1Dayコース

https://www.linpress.co.jp/lp_sa

次回

2022年 **11月15日(火)**

2022年 **12月13日(火)**

2023年 **2月17日(金)**

2023年 **3月16日(木)**

オンライン開催（Zoom）

実践・体験型 IT企画研修「STUD-SA」



実践を通してIT企画・上流工程を学ぶプログラム
実践・体験型IT企画研修
STUD-SA (オンライン2日間コース)

STUD-SA

講義 演習 理論・モデル

受講料金：110,000円（税込）2日間コース

https://www.linpress.co.jp/lp_sa